

校内研修会の報告

10月18日、高大接続改革や新学習指導要領について、先生方の理解を深めるための校内研修会（教職員対象）が実施されました。

布施校長先生の挨拶に引き続き、関西学院大学の尾木義久先生の講演が行われました。



文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業（主体性等分野） ～高校生の主体的学びとその見える化 を促進するJAPAN e-Portfolioの活用について～

改革の必要性から始まり、「ティーチング」から「ラーニング」へという改革の方向性について詳しく話していただきました。その上で、変化の激しい社会において、常に“学びに向かう姿勢”を育てていくことの重要性を熱く語っていただきました。

そのためには、自らの振り返りによる“気づき”が重要なこと。その気づきのために、ポートフォリオの作成が有効で、そのために今回のJAPAN e-Portfolioが文部科学省の委託事業として、作られたことのお話がありました。



関西学院大学の尾木義久先生



当日は本校の教職員に加え、他の進学重点校をはじめ、約50校の都立高校の先生方がお集りくださり、総勢120名ほどが先生の話に、熱心に耳を傾けました。

その後の質疑応答や情報交換でも、活発な議論や率直な疑問が出て、有意義な研修会となりました。参加した先生方から、「理解が深まった。」という多数の声があり、研修会は大成功でした。

戸山高校では、本年度の1年生から、Classi社のクラウドサービスを導入しました。これを使ったe-ポートフォリオの作成に、取り組んでいます。これによって、国際社会に貢献するトップリーダーに欠かせない「主体性」を育てて行くとともに、大学出願時に、このデータをJAPAN e-Portfolioに連携させていきます。

戸山高校は高大接続改革や新学習指導要領などへの対応に、積極的に取り組んでいます。新しい入試の形を模索する文部科学省の委託事業にも、昨年度は国語（幹事校北大）、数学（幹事校広大）、今年度は地歴（幹事校早稲田大）のモニター校として、積極的に貢献し、その知見を校内に蓄積しています。

今回の研修でも、e-ポートフォリオの中心の先生をお招きしての研修会は戸山ならではのことで